

第3次茨木市男女共同参画計画策定に係る 意識調査等について

1. 調査の種類別対象者・調査方法等

調査の種類	対象者	調査方法	予定実施時期
市民意識調査	18歳以上市民 2,000人を住民基本台帳から無作為抽出	事前に予告ハガキを送付 郵送配布・郵送回収/WEB回答併用	10月
小中学生意識調査	小学5年生約350人 中学3年生約350人 ※それぞれ協力依頼校を選定	学校を通じた配布と回収	10月
大学生意識調査	市内大学に通う大学生 ※各大学の協力を得て実施するため人数の設定はしないが、調査協力文書(個別アクセスキー付き)の配布枚数を把握して回収率を算出	大学を通じて学生に調査協力文書を配布 WEB調査	10月

2. 市民意識調査の概要

(1) 調査票等の構成

区分と仕様	内容	ねらい
依頼状 A4、2頁	<ul style="list-style-type: none"> ● 協力依頼文 ● 記入にあたってのお願い ● インターネットによる回答方法 	
調査票 A4、12～14頁、中綴じ、ユニボイスコード	<ul style="list-style-type: none"> ● 属性 ● 子育てや教育 ● 家庭生活、仕事、地域活動 ● 男女の人権 ● 男女平等に関する意識 	経年比較、指標項目の把握、国・府との比較項目を設定する。
別紙資料 A4、4頁(A3二つ折り)	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査に関するよくある質問(Q&A) ● 用語解説 ● 相談事業の概要 	用語解説と相談窓口の一覧表を別紙添付し、周知・啓発・利用促進を図る。

(2) 調査項目一覧

【今回の調査項目一覧 一般市民用】 オレンジ色は前回との比較可能設問、水色は府・国との比較設問

	項目(現行計画の指標項目は★、(は今回割愛)	今回調査案	大阪府調査	国調査	設問の意図
問1	男女の地位の平等観 ★(現行計画の指標:賃金や待遇、社会の慣習やしきたり、自治会などの地域活動)「社会全体」を追加	継続	●	●	社会の各分野における男女の地位の平等感の変化を把握する
問2	★性別役割分担意識	継続	●	●	固定的性別役割分担意識の変化を把握する
問3-1	性別役割分担に賛成する理由	継続	●	●	性別役割分担に賛成する理由を把握する
問3-2	性別役割分担に反対する理由	継続	●	●	性別役割分担に反対する理由を把握する
問4	家庭生活における役割分担についての考え方	新規	●	●	家庭における性別役割分担意識を把握する
問5	女性・男性であることで生きづらさを感じたことの有無	新規			ジェンダー意識の押しつけによる生きづらさの有無を把握する
問6	生きづらさを感じた内容	新規			生きづらさを感じる事柄を把握する
問7	新型コロナウイルス感染症による仕事や生活への影響	新規			コロナによる生活への影響を把握する
	(希望する子どもの育ち方)				
問8	子育てについての考え方(一部変更)	継続	●		性別にかかわる子育ての意識を把握する
問9	学校で男女平等を進めるうえで重要な取組(一部変更)	継続			学校における男女平等教育で重視することを把握する
	(仕事・家事時間)		●		
問10	★生活の中で優先したいこと、していること	継続	●	●	ワーク・ライフ・バランスの理想と現実を把握する
問11	★ワーク・ライフ・バランスの認知度	継続			ワーク・ライフ・バランスの言葉の認知度を把握する
問12	女性の働き方についての考え方	新規	●	●	女性が仕事と家庭を両立することに対する意識を把握する
問13	女性の働き方の実際	新規	●		実際に女性が両立している(したい)かどうかを把握する
	(仕事の有無)				
	(職場において男女格差を感じること)(働いている人)		●		
	(就労意向の有無)(働いていない人)		●		
	(現在働けない理由)(働きたい人)		●		
	(参加している・参加したい社会活動)		●		
	(社会活動に参加したいと思わない理由)(参加したくない人)		●		
	(地域活動のリーダー的役職の性別状況)				
	(上記で男性が多い理由)				

	項目(現行計画の指標項目は★、(は今回割愛)	今回調査案	大阪府調査	国調査	設問の意図
	(家族介護の有無)				
	(希望する・行っている介護の形態)		●		
	(在宅介護をしてもらう人)(在宅介護を希望・行っている人)		●		
問 14	男性が家事、子育てに積極的に参加していく社会をつくるために必要なこと(一部変更)	継続	●	●	男性が家事、子育て等に参加するために必要なことを把握する
問 15	防災に関して必要な取組	新規			防災分野における男女共同参画に必要な取組を把握する
問 16	職場や学校、地域におけるハラスメント経験の有無	継続			セクハラ経験の有無を場面ごとに把握する
問 17	配偶者・パートナー・恋人間で暴力だと思ふこと(一部追加)	継続	●		DV の認識を把握する
問 18	交際相手の有無	問 17			問 19 回答者のオミット項目
問 19	交際相手からの暴力の経験(交際相手がいる人)	継続	●		デートDVの被害経験を把握する
問 20	★デートDVの認知度	継続			デートDVの言葉の認知度を把握する
問 21	配偶者・パートナーの有無	問 19			問 22 回答者のオミット項目
問 22	配偶者・パートナーからの暴力の経験(配偶者・パートナーがいる人)	継続	●		DV の被害経験を把握する
問 23	DV を受けた際の相談状況	新規	●		DV 被害の相談状況を把握する
問 24	DV を相談しなかった理由	新規	●		相談しなかった人の理由を把握する
	(DV 等の相談窓口の認知状況)	削除	●	●	
	(女性が働き続けやすい社会のために必要なこと)	削除	●		
	(女性が再就職しやすい社会をつくるために必要なこと)	削除	●		
	(介護をしながらでも働き続けやすい社会をつくるために必要なこと)	削除			
	(心と体の健康を保つために必要な取組)	削除			
問 25	セクシュアルマイノリティに関する認知	新規			セクシュアルマイノリティに関する認知を把握する
問 26	性自認・性的指向に悩んだ経験の有無	新規			SOGI の意識を把握する
問 27	セクシュアルマイノリティにとって生活しづらい社会だと思うか	新規			セクシュアルマイノリティの視点からみた社会のあり方に対する意識を把握する
問 28	セクシュアルマイノリティが生活しづらい内容	新規			
問 29	市のセクシュアルマイノリティ支援施策の認知	新規			市の施策の認知を把握し、周知につなげる
問 30	ローズWAMの認知と利用経験の有無	継続			ローズ WAM の認知を把握し、周知につなげる
問 31	ローズWAMの利用内容(利用したことがある人)	継続			ローズWAMの利用実態を把握する

	項目(現行計画の指標項目は★、(は今回割愛)	今回調査案	大阪府調査	国調査	設問の意図
	(男女共同参画に関する言葉の認知度)★(現行計画の指標:仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)、デートDV)	削除	●	●	
問 32	男女共同参画の進展に関する認識(一部変更)	継続	●	●	男女共同参画の進展度の評価を把握する
F1	性別	継続	●	●	分析軸項目
F2	年齢	継続	●	●	
	結婚の有無	削除	●	●	
F3	家族構成	継続	●		
F4、F4-1	子どもの人数および末子の年齢	継続	●	●	
F5	就労形態	継続	●	●	
	(職場の従業員規模)	削除			
F5-1	職種	継続		●	
F6	配偶者・パートナーの就労の有無	継続	●		

3. 小中学生意識調査の概要

(1) 調査項目一覧

【今回の調査項目一覧 小・中学生用】

(当日配付のため省略)

4. 大学生意識調査の概要

(1) 調査項目一覧

		設問の意図
男女の地位の平等感	問 1	男女平等感、役割分担意識に対する若年層の意識を把握する
性別役割分担意識	問 2	
性別役割分担に賛成する理由	問 3-1	
性別役割分担に反対する理由	問 3-2	
新型コロナウイルス感染症による仕事や生活への影響	問 4	コロナの影響を把握する
女性の働き方についての考え方	問 5	女性の働き方に対する若年層の意識を把握する
セクシュアル・ハラスメントの経験	問 6	セクシュアル・ハラスメントの経験の有無を把握する
夫婦・恋人間で暴力だと思うこと	問 7	DV の認識を把握する
交際相手の有無	問 8	問 9 回答者のオミット項目
交際相手からの暴力の経験(交際相手がいる人)	問 9	デートDVの被害経験を把握する
被害を受けた場合の相談の有無	問 10	相談の有無と相談先を把握する
悩みや困りごとの相談先	問 11	悩みや困りごとの相談先を把握する
セクシュアルマイノリティに関する認知	問 12	セクシュアルマイノリティに関する認知を把握する
性自認・性的指向に悩んだ経験の有無	問 13	SOGI の意識を把握する
セクシュアルマイノリティにとって生活しづらい社会だと思うか	問 14	セクシュアルマイノリティの視点からみた社会のあり方に対する意識を把握する
セクシュアルマイノリティが生活しづらい内容	問 15	
市のセクシュアルマイノリティ支援施策の認知	問 16	市の施策の認知を把握し、周知につなげる
男女共生センター ローズWAMの認知度	問 17	ローズ WAM の認知を把握し、周知につなげる
性別	F1	分析軸項目
年齢	F2	対象とする若年層であるかの確認項目